

令和 4 年度

# 事業概要

(令和 3 年度統計)

金沢市食肉衛生検査所



## 金 沢 市 民 憲 章

金沢を愛するわたくしたちは、兼六園の四季のいろどり，犀川・浅野川の清い流れ，山や街の豊かな緑，かおり高い伝統文化を誇りとし、希望と活力にみちたはたらく基盤と，創造性あふれる教育・文化の華さくまちづくりにつとめます。

1 ひらこう 世界と未来に 心の窓を

1 めざそう いきいきと明るい 暮らしの創造を

1 まもろう 美しい心と ふるさとの自然を

1 つなごう みんなの力で まちづくりの手を

1 きずこう 個性ゆたかな あすの金沢を

# 目 次

第1章	食肉衛生検査所の概要	
1.	沿革	1
2.	組織機構	2
3.	職員の構成	2
4.	食肉衛生検査所長への委任事務	3
5.	分掌事項	3
6.	職員の給与調整	4
7.	諸手当	4
8.	と畜検査手数料	5
9.	事業費	5
10.	食肉衛生検査所の平面図	6
11.	主要検査設備一覧	7
12.	主要検査備品一覧	8
13.	石川県金沢食肉流通センター利用料金一覧	10
第2章	食肉検査事業	
1.	検査業務フローチャート	12
2.	と畜検査の概要	13
3.	食品衛生関係	24
4.	衛生対策関係	26
5.	食肉検査結果のフィードバック事業	27

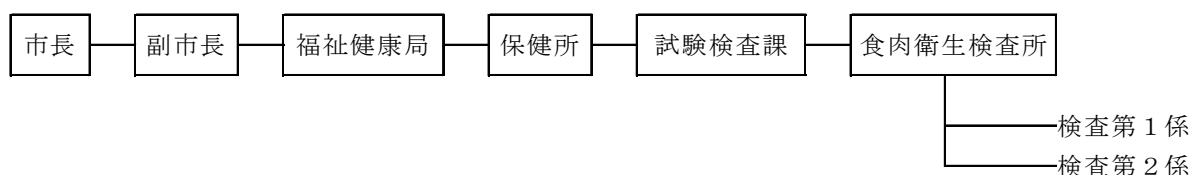
# 第1章 食肉衛生検査所の概要

## 1. 沿革

昭和 28 年	と畜場法が公布される。
昭和 34 年	金沢市営と畜場が金沢市西金沢町に新設される（中央保健所所管）。
昭和 53 年	金沢市才田町に石川県金沢食肉流通センターが新設され（泉野保健所所管）従前の金沢市営と畜場は閉鎖となる。
昭和 54 年	所管変更に伴い、泉野保健所から元町保健所に移管される（獣医師 4 名）。
昭和 55 年	機構改革に伴い、元町保健所衛生指導課食肉検査室が設置される（室長以下獣医師 6 名）。
昭和 59 年	獣医師が 1 名増員される（室長以下 7 名）。
昭和 62 年	機構改革に伴い、食肉検査室が元町保健所衛生指導課から保健公害部衛生検査課に移る。
平成 2 年	名称変更に伴い、食肉検査所となる。
平成 3 年	保健公害部が保健環境部に改称される。
平成 4 年	獣医師が 1 名増員され、所長以下 8 名となる。
平成 5 年	獣医師が 1 名増員され、所長以下 9 名となる。
平成 8 年	機構改革に伴い、保健環境部から福祉保健部となり、食肉検査所は衛生検査課から保健衛生課に移る。
平成 9 年	獣医師が 1 名増員され、所長以下 10 名となる。
平成 12 年	機構改革に伴い、食肉検査所が保健所生活衛生課に移る。食肉検査所庁舎が新築、移転する。
平成 13 年	獣医師が 1 名減員され、所長以下 9 名となる。10 月から、BSE 全頭検査を開始する。
平成 14 年	機構改革に伴い、食肉検査所が食肉衛生検査課となる。獣医師が 3 名増員され、課長以下 12 名となる。
平成 15 年	機構改革に伴い、食肉衛生検査課が食肉衛生検査所となる。
平成 16 年	獣医師が 2 名増員（内 1 名兼務）され、所長以下 17 名（非常勤 3 名含）となる。
平成 17 年	機構改革に伴い、福祉保健部から福祉健康局となり、健康推進局から健康推進部となる。
平成 19 年	所長以下 16 名（非常勤 2 名含）となり、獣医師 15 名となる。
平成 23 年	11 月から、石川県金沢食肉流通センターでと畜される牛肉の放射性セシウム全頭検査を開始する。
平成 24 年	機構改革に伴い、福祉健康局から保健局となり、食肉衛生検査所が試験検査課に移る。所長以下 15 名（非常勤 2 名含）となり、獣医師 14 名となる。
平成 25 年	7 月から、BSE 全頭検査を廃止し、検査対象月齢を 48 か月齢超とする。
平成 27 年	獣医師が 1 名増員（兼務）され、所長以下 16 名（非常勤 1 名含）となり、獣医師 15 名となる。9 月末日で食肉衛生検査所による放射性物質のスクリーニング検査を終了する。
平成 28 年	所長以下 15 名（非常勤 3 名含）となり、獣医師が 14 名となる。
平成 29 年	獣医師が 1 名減員され、所長以下 14 名（非常勤 2 名含）となり、獣医師 13 名となる。4 月 1 日から、健康牛での BSE スクリーニング検査を廃止し、検査対象は症状を呈する病畜とする。
平成 30 年	獣医師が 1 名減員され、所長以下 13 名（非常勤 2 名含）となり、獣医師 12 名となる。5 月 7 日から、獣医師が 1 名増員され、所長以下 14 名（非常勤

- 臨時3名含)となり、獣医師が13名となる。
- 令和2年 保健所長が食肉衛生検査所長と兼務となり、獣医師が2名減員され、所長以下14名(会計年度任用職員4名含)となり、獣医師が11名となる。
- 令和3年 機構改革に伴い、保健局から福祉健康局となり、食肉衛生検査所長は専任となる。所長以下13名(会計年度任用職員4名含)となり、獣医師が11名となる。
- 令和4年 所長以下13名、(会計年度任用職員4名含)となり、獣医師が12名となる。

## 2. 組織機構 (令和4年4月現在)



## 3. 職員の構成 (令和4年4月現在)

	職員数	内 訳						備 考
		総 括	病 理	微生物	残留物質	理化学	その他	
所 長	1	1						
補 佐	1	1						
係 長	2		1		1			
担当所長 補佐	1				1			
主 査	3			1	2			
主 任	1		1					
会計年度 任用職員	4		2		1		1	獣医師3名含む
計	13	2	5		5		1	

## 4. 食肉衛生検査所長への委任事務

金沢市衛生事務委任に関する規則（抜粋）

第3条 地方自治法第153条第1項の規定により、食肉衛生検査所長に委任する事項は、次のとおりとする。

(1)と畜場法に関する事項

ア と畜場法第14条第1項から第3項までの規定による獣畜のとさつ又は解体の検査に関すること。

イ と畜場法第14条第4項の規定による獣畜のとさつ又は解体の検査を要しないものの認定に関すること。

ウ と畜場法第16条の規定による獣畜のとさつ又は解体の禁止その他必要な措置命令に関すること。

エ と畜場法第17条第1項の規定によると畜場の設置者等に対する報告の徴収、と畜場の立入検査又は措置の実施状況の検査に関すること。

オ と畜場法施行令第5条第1項第1号から第3号までの規定によると畜場外への持出しの許可に関すること。

カ と畜場法施行令第7条の規定による獣畜のとさつ又は解体の検査の申請の受理に関すること。

キ と畜場法施行令第9条の規定による検印の押印に関すること。

(2)食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律(以下この号において「法」という。)に関する事項

ア 法第15条第1項から第5項までの規定による食鳥検査に関すること。

イ 法第15条第7項の規定による検査方法の簡略化に関すること。

ウ 法第16条第9項の規定による指導及び助言に関すること。

エ 法第20条の規定による公衆衛生上の必要な措置に関すること。

オ 法第37条第1項の規定による報告の徴収に関すること。

カ 法第38条第1項の規定による立入検査及び収去に関すること。

(3)と畜場内における食肉等に係る食品衛生法に関する事項

ア 食品衛生法第28条第1項の規定による報告の徴収、臨検、検査及び収去に関すること。

イ 食品衛生法第54条の規定による食品等の廃棄又は危害除去の処置の命令に関すること。

(平16年3月31日 金沢市規則第25号 一部改正)

## 5. 分掌事項

(1)と畜場法に関する事項

(2)と畜場内における食肉等に係る食品衛生法の規定に基づく措置及び衛生指導に関する事項

(3)食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律に関する事項

(4)化製場、死亡獣畜取扱場等に関する事項

## 6. 職員の給与調整

勤務箇所	職員	調整数
食肉衛生検査所	獣医師	2.5

職務の級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
調整基本額（円）	8,000	9,100	9,700	10,500	11,300	12,200	13,800

## 7. 諸手当

（単位：円）

初任給 調整手当	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満
	30,400	30,400	30,400	30,400	30,400
	5年以上 6年未満	6年以上 7年未満	7年以上 8年未満	8年以上 9年未満	9年以上 10年未満
	28,400	26,400	24,300	22,300	20,300
	10年以上 11年未満	11年以上 12年未満	12年以上 13年未満	13年以上 14年未満	14年以上 15年未満
	17,300	14,200	11,200	8,200	5,200



## 8. と畜検査手数料

(単位：円)

	牛・馬	こうし こうま	豚 めん羊・山羊
普通と畜	700	350	350
病切迫畜	1,400	700	700

## 9. 事業費

### (1) 歳入

(単位：千円)

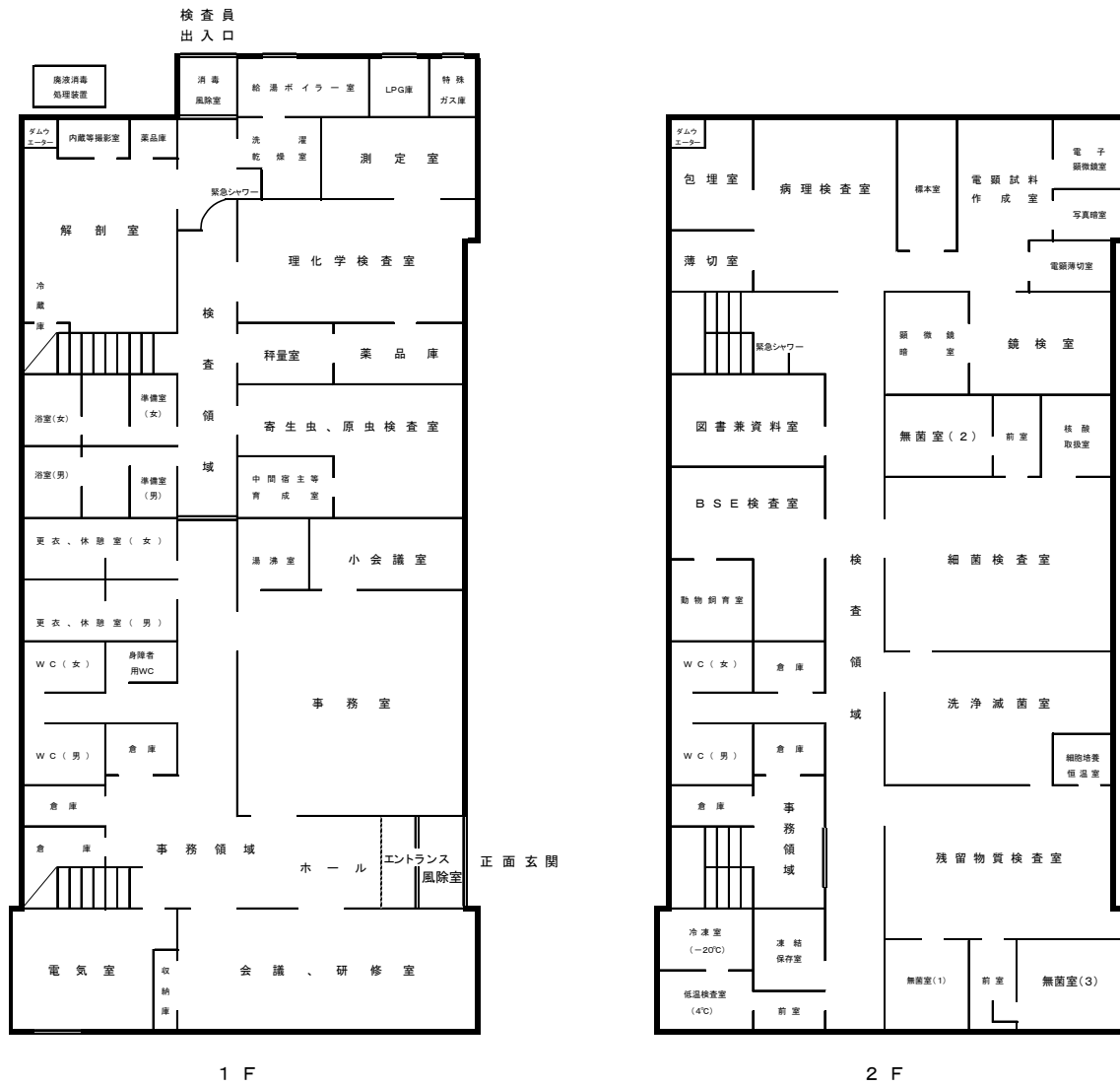
	令和3年度決算額	令和4年度予算額
と畜検査手数料	16,660	16,808

### (2) 歳出

(単位：千円)

		令和3年度予算額	令和4年度予算額
旅費		390	300
需用費	消耗品費	7,600	6,800
	修繕費	460	1,400
	被服費	100	100
	燃料費	800	800
	光熱水費	6,300	6,300
役務費	通信運搬費	30	30
	電話料	100	100
	手数料等	270	270
委託料		15,430	14,060
使用料及び賃借料		88	88
備品購入費		6,700	0
負担金		2,096	2,096
工事請負費		0	24,000
合計		40,364	56,344

# 10. 食肉衛生検査所の平面図



本 体 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 3 階 建	
床 面 積	1 階 804㎡
	2 階 768㎡
	3 階 145㎡ (機械室、省略)
計	1,717㎡

## 11. 主要検査設備一覧 (令和4年4月1日現在)

	検査設備名	規 格	数量
微生物検査関係	クリーンベンチ	ダルトン BGB-1300S	1
	安全キャビネット	ダルトン CLASS II B3	1
	パスボックス	日立 BHP3-5050A	2
	クリーンロッカー	日立 CL-4B1	2
	超音波洗浄流し台	ダルトン IUC-7321N	1
	純水製造装置付流し台	ダルトン NP-112N	1
病理検査関係	ドラフトチャンバー	ダルトン DF-11AK	2
	病理用切出し台	ダルトン MS-612	2
	プレハブ冷蔵庫	ホシザキ HUS-8RA-UCE	1
	ダムウェーター	クマリフト	1
理化学検査関係	ドラフトチャンバー	ダルトン DF-11AK	1
	超音波洗浄流し台	ダルトン US-C-600	1
	純水製造装置付流し台	ダルトン NP-211N	1
	迅速乾燥装置	池田理化 SPH-10N	1
	ボトルキャビネット	ナガノ BC-5	1
	ボトルキャビネット	ナガノ BC-G	2
寄生虫検査関係	ドラフトチャンバー	ダルトン DF-11AK	1
B S E 検査関係	パスボックス	日立 BHP3-5050A	1
	安全キャビネット	ダルトン CLASS II B2	1
	安全キャビネット	ダルトン CLASS II B3	1
	エアシャワー	日立 PCJ-80S	1

## 12. 主要検査備品一覧 (令和4年4月1日現在)

	備品名	規格	数量		備品名	規格	数量
微生物検査関係	双眼顕微鏡	オリンパスBX41	1	病理検査関係	自動封入装置	サクラ SGC-400	1
	ドライキャビ	ナビス TDC281P	1		恒温器	萱垣 KF60-WD	1
	プログラム低温恒温器	ヤマト IN600	3		バイオフィリーザー	日本フリーザー GSS-3065F	1
	恒温器	ヤマト IS600	2		染色液槽セット	サクラ DRS-2000	2
	テーブルトップ遠心機	クボタ 5100	1		タッチミキサー	ヤマト MT-51	1
	オートクレーブ	ヤマト SM500	2		プレートミキサー	萱垣 MPM-2N	1
	薬用冷蔵ショーケース	サンヨーMPR-512R	1		小容量グラジュエントメーカー	ファルマシア SG50	1
	バッグミキサー	ナビス 100P 他	2		へパフィルター付掃除機一式	アズワン ウルトラ2000 他	1
	タッチミキサー	ヤマト MT-31 他	5		標本作成用マイクロウェーブ装置一式	ファイテック マイクロメッドT/Tメガ 他	1
	ウォーターバスインキュベーター	ヤマト BF400 他	2		スライドウオッシャー	十慈フィールドSW-4	1
	電子天秤	メトラートレド PB3002-S	1		ブロッキング槽一式	Bio-Rad 165-5052V	1
	ゲル撮影装置	アステック GST-33	1		自動染色装置	ヒスト・テックVP1	1
	トランスイルミネーター	日本ジェネティクス LB16BG 他	2		自動固定包埋装置	サクラファイテックジャパン ETP-151CV	1
	炭疽診断セット	富士平工業	1		パラフィン包埋ブロック作製装置	サクラファイテックジャパン マイクロメッド TBS	1
	pHメーター	堀場 F-21	1		パラフィンクリーナー	サクラ PC-32	1
	マイクロ冷却遠心機	クボタ 3740他	2		マイクロウェーブ装置	ファイテックマイクロメットT	1
	ウェーブミキサー	イウチ WEB-30	1		組織固定用振とう機	サクラ VS-21	1
	アルミブロック恒温槽	タイテック DTU-2B	1		マイクローム	ヤマト LS-113 他	2
	標準分銅	ザルトリウス YCS01-352	1		小型滑走式マイクローム	ヤマト TU-213	1
	LED照射装置	タカラバイオ EM200	1		凍結切片作製装置一式	サクラ CM-502&CFSA	1
	リアルタイムPCR装置	タカラバイオ TP960	1		温浴式パラフィン伸展器	サクラ PS-125WH	1
	電気泳動装置	ADVANCE Mupid-ex 他	2		パラフィン薄切用加湿器	サクラ SMB-1	1
	パルスフィールド電気泳動装置一式	バイオラド CHEF-DR2 他	1		パラフィン伸展器	サクラ PS-52 他	2
	マイクロミキサー	萱垣 MT-5C	1		四眼鏡筒	オリンパス BH2-TET	1
	バイオフィリーザー	日本フリーザー-GSS-3126HC	1		顕微鏡写真撮影装置	オリンパス PM20-AD	1
	BM機器 卓上遠心機	Force Mini SBC-140	1		ディスカッション顕微鏡	オリンパス BX50-34-MD0-5	1
	クリーンベンチ	日本医科器VSF-1300A	1		蛍光顕微鏡	オリンパス BX50-34-FLA1	1
	乾熱滅菌器	アドバンテック STN620DE	1		顕微鏡写真撮影装置	オリンパス PM-20-AD	1
	自動製氷器	星崎 FM-120D	1		薬用冷蔵ショーケース	サンヨー MPR-512R	1
	ハンドシーラー	東洋 CD-400	1		医用写真撮影装置	スギウラ SL-MPS-II	1
	オートスチル	ヤマト WS220	1		デジタルカメラ	ニコン D5300	1
	超純水製造装置	ヤマトオートピュアWT100	1				
	加圧タンクキット	日本ミリボア XXKT 00P 10	1				
	加圧ろ過ステンレスホルダー	日本ミリボア YY30 142 36	1				
	オートクレーブ	ヤマトSM500 他	3				
	小型超低温槽	日本フリーザーMY B10-VT208	1				

	備 品 名	規 格	数量
理化学検査関係	ロータリーエバポレーター	東京理化N-1300VF-W	1
	テーブルトップ遠心機	コクサンH-36α	1
	ハンディーホモジナイザー	ナビス T-25S10	1
	分液漏斗振とう機	三商MMV-1000W	1
	吹付式試験管濃縮装置	東京理化 MG-2100	1
	薬用冷蔵ショーケース	ダイワDC-ME50RA-EC	1
	多連式ホットスターラー	イウチ HSD-4P	1
	超純水製造装置	ミリポア Simpli Lab	1
	超低温槽	サンヨー MDF-192AT	1
	校正分銅内蔵精密電子天秤	島津 TW223N	1
	オートスチル	ヤマト WB-21	1
	高速液体クロマトグラフ装置一式	島津 LC-30AD 他	1
	超精密電子天秤	島津 AEG-45SM	1
	分析天秤	島津AP125WD	1
残留物質検査関係	ディープフリーザー	日本フリーザーD-271DF3	1
	保冷库	サンヨーMPR-214F	1
	恒温器	ヤマト IS600 他	3
	オートクレーブ	ヤマト SM500	2
	分析用電子天秤	ナビス HF-2000	1
	薬用冷凍冷蔵庫	福島工業FMS-F304G	1
	食品検査用ホモジナイザー	グンゼマスティケーター40UD	1
電子天秤	アズワン AB-54-S 他	2	
寄生虫検査関係	生物顕微鏡	オリンパス BX40-11	1
	双眼実体顕微鏡	オリンパス SZ-2	1
	卓上型多本架遠心機	クボタ KC-30	1
	小型卓上遠心器	コクサン H-103N2	1
	超音波ピペット洗浄機	シマズ SUS100PN	1
	薬用保冷库	日本フリーザーKGT-4010HC	1
	タッチミキサー	ヤマト MT-31	2

	備 品 名	規 格	数量
BSE検査関係	恒温器	ヤマト IS400	1
	電子天秤	メトラートレド BD-202	1
	マイクロ冷却遠心機	クボタ 3740	1
	アルミブロック恒温槽	タイテック DTU-2B	2
	高圧蒸気滅菌器	アルプ MCB-3032S 他	2
	多検体細胞破碎機	安井器械 MB524TMA	2
	マイクロプレートウォッシャー	パイオラドImmunoWash157	1
	マイクロプレートリーダー	パイオラド モデル680	1
	薬用冷蔵ショーケース	PHCbi MPR-S150N-PJ	1
	現場検査関係	双眼顕微鏡	オリンパス CX23LED-L2
自動血球計数器		日本光電 MEK-6558	1
スポットケム		アークレイ SP-4430 他	2
パーソナル遠心機		イワキ CFM-2060 他	2
保冷库		東芝 GR-Y50 他	3
その他	ビデオプロジェクター	三菱LVP-X250	1
	ビデオデッキ	ナショナル NV-SVB10	1
	スライド映写機	キャビン AF-250	1
	公用車	スバル	1

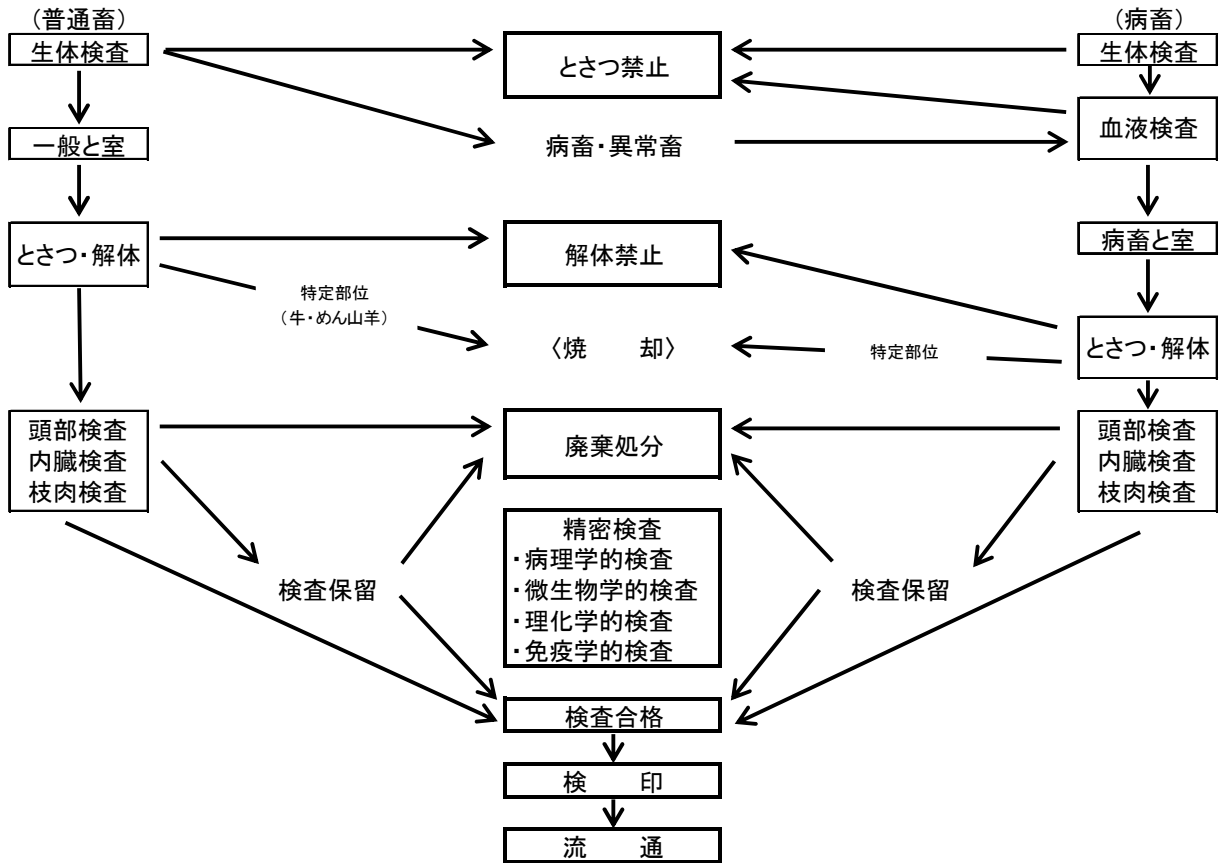
### 13. 石川県金沢食肉流通センター利用料金一覧 (令和4年4月1日現在)

(単位：円/1頭)

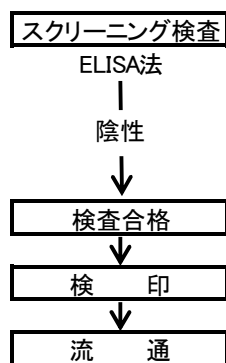
区分	とさつ 解体手数料	廃棄物 処理料	格付け業務 手数料	とさつ 解体施設 使用料	冷蔵・冷凍 保管施設 使用料	廃豚 協力金	原油高騰 協力金	枝肉全廃 処理料	
普通と畜	牛	5,772	1,100	567	3,674	815	-	320	16,500
	馬								
	豚	1,356	-	110	946	210	-	80	1,376
	こうし								
	廃豚	1,356	-	110	946	210	1,100	80	1,376
	めん羊	1,356	378	-	561	210	-	-	1,376
	山羊								
病畜と畜	牛	7,441	5,947	567	5,885	815	-	320	16,500
	馬								
	豚	1,683	1,353	110	1,100	210	-	80	1,376
	こうし								
	廃豚	1,683	1,353	110	1,100	210	1,100	80	1,376
	めん羊	1,683	1,577	-	869	210	-	-	1,376
	山羊								
時間外と畜	牛	15,180	8,890	567	9,042	815	-	320	16,500
	馬								
	豚	4,103	1,716	110	1,397	210	-	80	1,376
	こうし								
	廃豚	4,103	1,716	110	1,397	210	1,100	80	1,376
	めん羊	4,103	1,855	-	1,023	210	-	-	1,376
	山羊								

## 第2章 食肉検査事業

# 1. 検査業務フローチャート



## 牛海綿状脳症の検査(牛、めん山羊)



牛海綿状脳症の検査対象

牛：24 か月齢以上の牛のうち原因不明の神経症状又は全身症状を示すもの

めん山羊：生体検査において異常行動や運動失調等の症状を呈するもの



## 2. と畜検査の概要

### (1) と畜検査総頭数

(単位：頭)

牛	馬	豚	こうし	めん羊・山羊	合計
5,770	0	35,872	9	18	41,669

### (2) 月別と畜検査頭数

(単位：頭)

月	牛				馬	豚	こうし	めん羊 山羊	合計
	和牛※1	乳牛※2	その他※3	計					
4	203	235	128	566	0	3,079	0	0	3,645
5	131	159	102	392	0	2,704	1	0	3,097
6	155	179	90	424	0	3,075	1	0	3,500
7	297	171	121	589	0	3,013	2	0	3,604
8	97	175	95	367	0	2,602	0	0	2,969
9	144	173	113	430	0	3,033	0	0	3,463
10	167	210	122	499	0	3,039	2	0	3,540
11	270	217	116	603	0	3,203	1	3	3,810
12	228	183	147	558	0	3,339	1	0	3,898
1	148	183	105	436	0	2,897	0	10	3,343
2	102	170	93	365	0	2,695	0	5	3,065
3	174	234	133	541	0	3,193	1	0	3,735
計	2,116	2,289	1,365	5,770	0	35,872	9	18	41,669

※1 和牛：黒毛、褐毛、日本短角等の肉用種

※2 乳牛：主としてホルスタイン系の乳用種

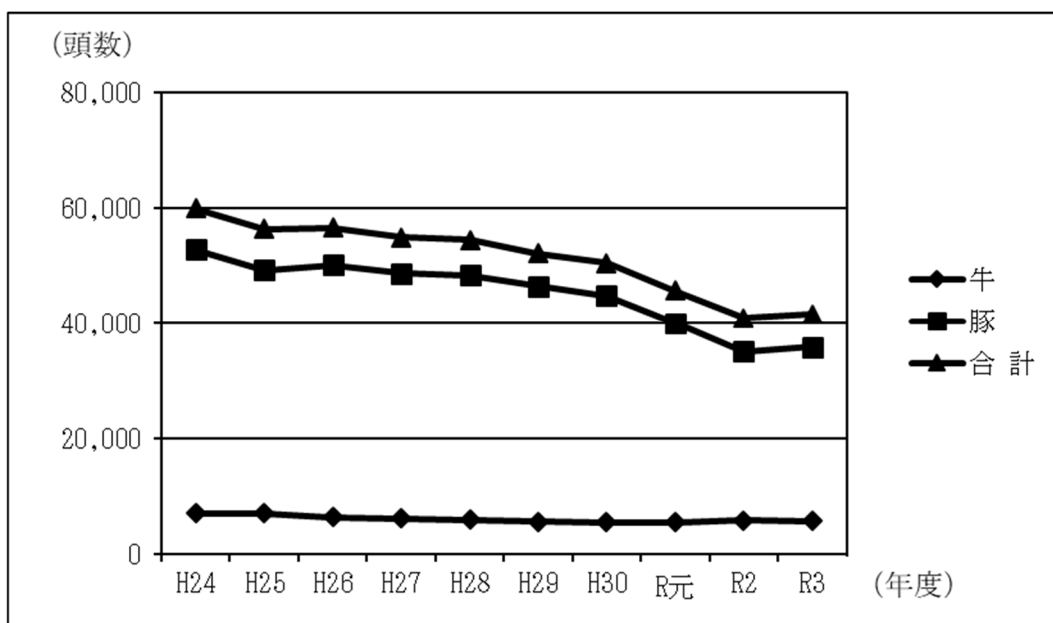
※3 その他：交雑種

(3) 過去10年間のと畜検査頭数の推移

(単位：頭)

年度	牛	豚	その他 <sup>※</sup>	合計
H24	7,151	52,871	22	60,044
H25	7,111	49,321	13	56,445
H26	6,519	50,194	12	56,725
H27	6,271	48,768	11	55,050
H28	6,073	48,451	17	54,541
H29	5,654	46,579	22	52,255
H30	5,611	44,916	19	50,546
R元	5,595	40,154	22	45,771
R2	5,949	35,111	9	41,069
R3	5,770	35,872	27	41,669

※ その他：馬、こうし及びめん羊・山羊



(4) 出荷産地別にみた検査頭数

(単位：頭)

出荷産地 <sup>※1</sup>	牛				馬	豚	こうし	めん羊 山羊	合計
	和牛 <sup>※2</sup>	乳牛 <sup>※3</sup>	その他 <sup>※4</sup>	計					
北海道	0	648	1	649	0	0	0	0	649
青森県	0	1	0	1	0	0	0	0	1
岩手県	0	4	0	4	0	0	0	0	4
宮城県	0	1	0	1	0	0	0	0	1
秋田県	0	19	0	19	0	0	0	0	19
山形県	0	175	0	175	0	0	0	0	175
栃木県	0	144	0	144	0	0	0	0	144
群馬県	188	322	770	1,280	0	0	0	0	1,280
埼玉県	1	0	9	10	0	0	0	0	10
新潟県	46	86	12	144	0	0	0	0	144
富山県	26	80	13	119	0	0	0	0	119
石川県	1,182	524	48	1,754	0	35,010	9	18	36,791
福井県	605	91	85	781	0	178	0	0	959
長野県	0	12	0	12	0	0	0	0	12
岐阜県	52	29	41	122	0	684	0	0	806
静岡県	0	11	3	14	0	0	0	0	14
愛知県	10	86	302	398	0	0	0	0	398
三重県	3	37	62	102	0	0	0	0	102
滋賀県	2	5	14	21	0	0	0	0	21
京都府	0	4	1	5	0	0	0	0	5
大阪府	0	1	0	1	0	0	0	0	1
兵庫県	0	1	4	5	0		0	0	5
奈良県	0	5	0	5	0		0	0	5
和歌山県	0	4	0	4	0	0	0	0	4
合計	2,115	2,290	1,365	5,770	0	35,872	9	18	41,669

※1 出荷産地：食肉流通統計に基づいた都道府県

※2 和牛：黒毛、褐毛、日本短角等の肉用種

※3 乳牛：主としてホルスタイン系の乳用種

※4 その他：交雑種

(5) 獣畜のとさつ解体禁止又は廃棄したもの原因

(単位：頭)

畜種	牛			馬			豚			こうし			めん羊・山羊		
	検査頭数			0			35,872			9			18		
区分	禁 止	全 部 廃 棄	一 部 廃 棄	禁 止	全 部 廃 棄	一 部 廃 棄	禁 止	全 部 廃 棄	一 部 廃 棄	禁 止	全 部 廃 棄	一 部 廃 棄	禁 止	全 部 廃 棄	一 部 廃 棄
処分実頭数	5	73	4,595	-	-	-	1	27	23,219	-	-	9	-	-	-
細菌病	炭疽	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	豚丹毒	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-
	サルモネラ病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	結核病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ブドウ球菌病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破傷風	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	放線菌病	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-
ウイルス	豚コレラ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
原虫	トキソプラズマ病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
寄生虫	のう虫病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ジストマ病	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	760	-	-	-	-	-	-
その他の疾病	膿毒症	-	5	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-
	敗血症	-	7	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
	尿毒症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	黄疸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	水腫	-	55	360	-	-	-	1	67	-	-	-	-	-	-
	腫瘍	-	-	4	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-
	中毒諸症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	炎症・汚染	-	-	4,023	-	-	-	-	23,110	-	-	9	-	-	-
	変性・萎縮	-	-	2,354	-	-	-	-	145	-	-	2	-	-	-
その他	5	6	168	-	-	-	1	-	328	-	-	-	-	-	
合計	5	73	6,917	0	0	0	1	27	24,417	0	0	11	0	0	0

分類集計は厚生労働省が管理する食肉検査等情報処理還元システムに準ずる。

## (6) 畜種別疾病状況

(単位：件)

		牛	こうし	豚	馬	めん羊	山羊
検査頭数		5,770	9	35,872	0	18	0
消化器系	肝臓の腫瘍						
	肝臓の炎症	386		3,894			
	肝臓の変性	14		23			
	肝富脈斑	193					
	肉荳蔻肝	10		1			
	着色肝	1					
	退色肝	64	1				
	肝炎 鋸屑肝	319					
	肝炎 肝膿瘍型	279		4			
	肝炎 肝硬変型	1		3			
	間質性肝炎			672			
	肝蛭	5					
	肝包膜炎	237		1,091			
	胆管の炎症	49					
	胆管の結石	9					
	胆嚢の炎症	1					
	胆嚢の結石	1					
	舌の炎症	1					
	唾液腺の炎症	1					
	胃の水腫	2					
	胃の腫瘍	4					
	胃の炎症	2,561	9	14			
	胃潰瘍	887					
	第1胃バラケトージス	1,503	1				
	小腸の水腫			4			
	小腸の炎症	1,248	9	527			
	腸気泡症			2			
	大腸の水腫			2			
大腸の炎症	1,418	9	2,365				
膵臓の炎症	3		11				
膵臓の奇形			1				
脂肪壊死症	218						
腹膜の炎症	136		784				
腸間膜(脂肪)の水腫	15	1	2				
大網膜の炎症	122		1,161				
その他の線虫症	0		760				
合計	9,688	30	11,321	0	0	0	

(単位：件)

		牛	こうし	豚	馬	めん羊	山羊
循環器系	心筋の腫瘍	5		1			
	心筋の炎症	3					
	心筋の変性	22		3			
	心外膜の炎症	89		1,637			
	心内膜の炎症	5		11			
	心筋異常 膿瘍型			1			
	心臓肥大	1		13			
	心室中隔欠損症	2					
	脾臓の炎症	3		11			
	脾臓の奇形			1			
	捻転脾			26			
	リンパ節の腫瘍	5					
	リンパ節の炎症			39			
合計		135	0	1,743	0	0	0
呼吸器系	肺の水腫	1		1			
	肺の腫瘍			1			
	肺の炎症	374	1	817			
	肺の奇形	1					
	肺炎SEP型グレード1			4,894			
	肺炎SEP型グレード2			9,562			
	肺炎SEP型グレード3			979			
	肺炎 膿瘍型	19		178			
	肺炎 ヘモフィルス型			123			
	肺炎 胸膜炎型	444		3,508			
	胸膜の炎症	199		3,954			
	横隔膜の炎症	292		1,680			
横隔膜ヘルニア			3				
合計		1,330	1	25,700	0	0	0
泌尿生殖器系	腎臓の腫瘍	1					
	腎臓の炎症	64		104			
	腎盂の炎症	2					
	腎梗塞	2		19			
	腎炎 出血型	47		5			
	腎炎 斑状病巣型	16		35			
	腎炎 膿瘍型	9		4			
	腎臓の結石	4					
	嚢胞腎	12		148			
	膀胱の腫瘍	1					
	膀胱の炎症	54		24			
	膀胱の変性	1					
	膀胱の結石	44		9			
	生殖器の奇形	3					
	子宮の腫瘍	1					
	子宮の炎症	33		4			
	子宮の奇形	1					
	子宮蓄膿症	26		3			
	膣脱			2			
	顆粒膜細胞腫			1			
壊疽性乳房炎	1						
乳房の炎症	26		19				
精巣・陰囊の炎症			2				
合計		348	0	379	0	0	0

(単位：件)

		牛	こうし	豚	馬	めん羊	山羊
運 動 器 系	筋肉の水腫	240		50			
	筋肉の腫瘍	2		1			
	筋肉の炎症	259		165			
	筋肉の変性	242		89			
	筋肉の外傷	143		7			
	筋肉膿瘍	35		198			
	骨の炎症	5		4			
	盤状骨異所形成			2			
	脊椎膿瘍			53			
	骨折	6		23			
	脱臼	24		1			
	椎間(板)炎			34			
	尾炎(尾咬症を含む)			171			
	フレグモーネ	1					
関節の炎症	50		159				
蹄・爪の炎症	1		0				
合 計	1,008	0	957	0	0	0	
皮 膚 ・ 内 分 泌 ・ 神 経 系	皮膚の腫瘍	1					
	皮膚の炎症	3		2			
	皮膚の変性	5					
	皮膚の外傷			1			
	皮下織の水腫	187		11			
	皮下織の腫瘍			1			
	皮下織の炎症	280		952			
皮下織の変性	22		14				
合 計	498	0	981	0	0	0	
そ の 他	抗酸菌症			5			
	放線菌病	3					
	メラニン沈着	2		7			
	リポフスチン沈着	65		1			
	メラノーマ			3			
	直腸脱			5			
	鎖肛			20			
横隔膜以外のヘルニア	1		73				
合 計	71	0	114	0	0	0	

(7) 月別にみた病畜検査頭数

(単位：頭)

月	牛				馬	豚	こうし	めん羊 山羊	合 計
	和 牛 <sup>※1</sup>	乳 牛 <sup>※2</sup>	その他 <sup>※3</sup>	計					
4	0	8	0	8	0	0	0	0	8
5	1	6	0	7	0	0	0	0	7
6	3	5	0	8	0	0	0	0	8
7	0	4	0	4	0	0	0	0	4
8	1	7	0	8	0	0	0	0	8
9	0	8	0	8	0	0	0	0	8
10	0	9	0	9	0	0	0	0	9
11	1	4	0	5	0	0	0	0	5
12	0	3	0	3	0	0	0	0	3
1	0	5	0	5	0	0	0	0	5
2	1	4	0	5	0	0	0	0	5
3	1	10	0	11	0	0	0	0	11
計	8	73	0	81	0	0	0	0	81

※1 和 牛：黒毛、褐毛、日本短角等の肉用種

※2 乳 牛：主としてホルスタイン系の乳用種

※3 その他：交雑種

(8) 病畜及び異常畜の血液検査頭数

(単位：頭)

畜 種	検査頭数	直接鏡検	血液一般	血液生化学
牛	107	88	94	96
豚	0	0	0	0
合 計	107	88	94	96



(9) 病畜及び異常畜の血液一般検査で異常値を示した内訳

(単位：頭)

畜種	検査頭数	血液一般 (異常値)				
		RBC	HCT	MCV	WBC	HGB
牛	94	27	33	13	68	27
豚	0	0	0	0	0	0
こうし	0	0	0	0	0	0
合計	94	27	33	13	68	27
正常値		500~900 ×10 <sup>4</sup> /μl	24~46 %	40~60 fl	40~100 ×10 <sup>2</sup> /μl	8~15 g/dl

(10) 病畜及び異常畜の血液生化学検査で異常値を示した内訳

畜種	検査頭数	血液生化学 (異常値)					
		Glu	T-Cho	BUN	T-Bil	GOT	GPT
牛	96	79	32	30	67	92	62
豚	0	0	0	0	0	0	0
こうし	0	0	0	0	0	0	0
合計	96	79	32	30	67	92	62
正常値		60~80 mg/dl	50~150 mg/dl	10~40 mg/dl	0.05~0.4 mg/dl	10~50 IU/L	5~20 IU/L

(11) 豚異常畜の関節液グルコース値検査

(単位：頭)

畜種	検査頭数	Glu異常値
豚	28	23

関節炎型豚丹毒を疑う検査保留の際には、関節液のグルコース値を測定する。グルコース値が40mg/dl未満の場合には、検査保留を継続して精密検査を行う。

## (12) 保留畜の精密検査

(単位：件)

畜種	検査項目	検査頭数 (頭)	全部廃棄 頭数 (頭)	検査項目			
				病理学的 検査	理化学的 検査	細菌・ウイルス 学的検査	小計
牛	膿毒症	8	5	8	0	0	8
	敗血症	8	7	8	0	30	38
	尿毒症	1	0	1	1	0	2
	黄疸	0	0	0	0	0	0
	水腫	57	55	57	0	0	57
	腫瘍	1	0	13	0	0	13
	牛伝染性リンパ腫	7	6	106	0	0	106
小計		82	73	193	1	30	224
豚	豚丹毒	38	11	38	0	65	103
	膿毒症	7	7	7	0	5	12
	敗血症	12	6	11	0	45	56
	尿毒症	0	0	0	0	0	0
	黄疸	0	0	0	0	0	0
	水腫	2	1	1	0	0	1
	腫瘍	4	2	30	0	0	30
白血病	0	0	0	0	0	0	
小計		63	27	87	0	115	202
こうし	膿毒症	0	0	0	0	0	0
	敗血症	0	0	0	0	0	0
	尿毒症	0	0	0	0	0	0
	牛伝染性リンパ腫	0	0	0	0	0	0
小計		0	0	0	0	0	0
合計		145	100	280	1	145	426

## (13) 調査及び研究のための試験検査

(単位：件)

区分		総数	検査検体数			
			病理学的 検査	理化学的 検査	細菌・ウイルス 学的検査	寄生虫学的 検査
畜種	牛	58	1	15	42	0
	豚	87	1	0	86	0
合計		145	2	15	128	0

- 1) 病理学的検査
- ・腫瘍等の組織学的検査 牛 1 頭、豚 1 頭
- 2) 理化学的検査
- ・異常畜の血液生化学検査 牛 15 件、豚 0 件
- 3) 細菌・ウイルス学的検査
- ・腸管出血性大腸菌保菌調査 糞便保菌調査 28 件 (陽性 7 件)
  - 枝肉拭取り調査 6 件 (陽性 0 件)
  
  - ・豚のサルモネラ属菌保菌調査 糞便保菌調査 58 件 (陽性 10 件)
  - 枝肉拭取り調査 10 件 (陽性 0 件)
  
  - ・敗血症等原因菌調査 牛 8 件、豚 18 件

(14) 伝達性海綿状脳症に関する対応

1) 牛海綿状脳症スクリーニング検査頭数

(単位：頭)

年度	検査頭数	陽性頭数
R3	4	0
R2	5	0

### 3. 食品衛生関係

#### (1) 残留有害物質検査

食肉中に農薬、飼料添加物及び動物用医薬品が厚生労働大臣の定める量を超えて残留していないか検査をしている。検査項目は以下のとおりである。

- ・抗生物質

平成6年7月1日付け衛乳第107号「畜水産食品中の残留抗生物質簡易検査法」により実施している。

- ・合成抗菌剤等及び駆虫薬

平成17年1月24日付け食安発第0124001号「食品に残留する農薬、飼料添加物又は動物用医薬品の成分である物質の検査法」により実施している。

#### 1) 残留有害物質サーベイランス検査（抗生物質等の使用が疑われた獣畜）

(単位：件)

畜種	検査項目	検査頭数 (頭)	検査検体数	陽性数 <sup>※1</sup>
牛 (こうし含)	抗生物質	17	34	0
	合成抗菌剤等	0	0	0
	駆虫薬	0	0	0
豚	抗生物質	16	32	0
	合成抗菌剤等	0	0	0
	駆虫薬	0	0	0
めん羊・山羊	抗生物質	4	8	0
	合成抗菌剤等	0	0	0
	駆虫薬	0	0	0
合計		37	74	0

#### 2) 残留有害物質モニタリング検査（健康な獣畜の検査）

(単位：件)

畜種	検査項目	検査頭数 (頭)	検査検体数	陽性数 <sup>※2</sup>
牛	抗生物質	55	110	0
	合成抗菌剤等	19	20	0
	駆虫薬	10	10	0
豚	抗生物質	85	170	0
	合成抗菌剤等	33	34	0
	駆虫薬	10	10	0
合計		212	354	0

当所独自モニタリング及び平成20年4月1日付け事務連絡「畜水産食品の残留有害物質モニタリング検査について」により検査を実施。

※ 1、2の陽性数は陽性又は基準値超過件数

(参考) 動物用医薬品別の高速液体クロマトグラフ検査頭数内訳

(単位：頭)

	動物用医薬品名	牛	豚	めん羊	計
抗生物質	アンピシリン	14	10	0	24
合成抗菌剤	スルファジミジン	5	5	0	10
	マルボフロキサシン	0	8	0	8
	エンロフロキサシン <sup>※1</sup>	0	8	0	8
	シプロフロキサシン	0	8	0	8
	サルファ剤系 <sup>※2</sup>	0	2	0	2
駆虫剤	イベルメクチン系 <sup>※3</sup>	0	10	0	10
	レバミゾール	10	0	0	10
合 計		29	43	0	72

※1 残留基準値は、エンロフロキサシン、シプロフロキサシン 2 剤の総和

※2 スルファジアジン、スルファメラジン、スルファモノメトキシ、  
スルファメトキサゾール、スルファジメトキシ

※3 イベルメクチン、ドラメクチン

(2) 枝肉の切除法を用いた微生物試験 (外部検証)

と畜場の解体作業が衛生的に行われていることを確認するため、枝肉の頸部25cm<sup>2</sup>を切除法により採取し、令和2年5月28日付け生食発0528 第1号「と畜検査員及び食鳥検査員による外部検証の実施について」に基づいて実施している。

1) 枝肉の外部検証 (一般細菌数等の細菌学的検査)

(単位：頭)

畜種	検査頭数	検査項目			
		一般細菌数	腸内細菌科菌群数	腸管出血性大腸菌	サルモネラ属菌
牛	60	60	60	60(0)	—
豚	60	60	60	—	60(0)
合計	120	120	120	60(0)	60(0)

( ) 内は基準値超過件数

- ・基準値：牛は腸管出血性大腸菌が検出されないこと、豚はサルモネラ属菌が検出されないこと

2) 牛病畜枝肉の外部検証 (一般細菌数等の細菌検査)

(単位：頭)

牛病畜 検査頭数	検査項目		
	一般細菌数	腸内細菌科菌群数	腸管出血性大腸菌
11	11	11	11(0)

( ) 内は基準値超過件数

- ・基準値：腸管出血性大腸菌が検出されないこと

(3) 枝肉の拭取り検査（一般細菌数等の細菌検査）

と畜場の解体作業が衛生的に行われていることを確認するため、枝肉の胸部、臀部100cm<sup>2</sup>を拭き取り、平成9年4月8日付け衛乳第114号「と畜場における衛生管理の徹底について」及び平成9年4月8日付け事務連絡「と畜場における自主衛生管理について」に基づいて実施している

(単位：頭)

畜種	検査頭数	検査項目	
		一般細菌数	腸内細菌科菌群数
めん羊・山羊	1	1	1
合計	1	1	1

## 4. 衛生対策関係

(1) と畜場内外の衛生対策

1) 衛生講習会

令和3年4月 第1回衛生講習会：解体作業者

・外部検証の実施について

令和3年4月 第2回衛生講習会：食肉公社新任職員

・一般衛生管理について

2) 監視業務（監視数）

食肉処理施設（併設する部分肉処理施設及び内臓処理施設）（2回）

認定小規模食鳥処理場（1回）

化製場（含む準用施設）（4回）

動物の飼養収容施設（2回）

(2) 食の安全・安心に関する情報発信

令和3年10月 みみより情報「食肉の安全Ⅰ」

令和3年12月 金沢かがやき発信講座「お肉を安全に安心して食べるために」

令和4年2月 みみより情報「食肉の安全Ⅱ」

## 5. 食肉検査結果のフィードバック

食肉検査の情報還元（フィードバック）は、全国の食肉衛生検査機関で実施されており、本所でも、平成9年度から豚の食肉検査結果に関する情報還元を行っている。疾病等の情報は、生産者へ個別に通知するほか、県内外の家畜保健衛生所へも提供しており、生産者毎の家畜の疾病動向の監視・指導に利用されている。

還元先	家畜保健衛生所	生産者
対象者数	3	18

発 食 検 号 外  
令和 年 月 日

**出荷豚疾病状況通知書**

様  
金沢市食肉衛生検査所長

あなたの出荷した豚の令和 年 月の検査結果は、以下のとおりです。  
この結果を、飼養管理の一助としてご利用ください。

● 今月のコメント

出荷頭数	全部廃棄頭数						
	豚丹毒	膿毒症	敗血症	尿毒症	黄疸	水腫	腫瘍

● 一部廃棄疾病率(延べ百分率) 注): 下段(網掛け部)は、令和 年 月の全体平均

肝 臓	肝白斑症	肝 炎	肝包膜炎	変性肝

※ 太字は全体平均を超過した疾病

肺	MPS	Aパテリス	肺膿瘍	他の肺炎	胸膜炎

その他	心外膜炎	大腸炎	小腸炎	膀胱炎	関節炎	抗酸菌症

※ 疾病予防および飼養管理については、  
最寄りの家畜保健衛生所にご相談ください。

石川県北部家畜保健衛生所 TEL (0767) 68-3636  
石川県南部家畜保健衛生所 TEL (076) 257-1262

検査担当：金沢市食肉衛生検査所  
〒920-3101  
金沢市守田町戊370-2  
TEL (076) 257-1402  
FAX (076) 257-2083  
E-Mail syokuniku@city.kanazawa.lg.jp

**MPS(マイコプラズマ)肺炎の内訳**

軽 度	77%
中 等 度	13%
重 度	10%

**全体の内訳**

軽 度	73%
中 等 度	19%
重 度	8%

**大腸炎による白もの内臓廃棄率の変化**

月	生産者名	全体平均
12月	28.1%	8.0%
1月	30.2%	6.3%
2月	29.4%	7.4%
3月	21.4%	7.5%
4月	20.6%	5.7%
5月	23.0%	6.3%

**肝白斑症(寄生虫肝炎)による肝臓廃棄率の変化**

月	生産者名	全体平均
12月	84.6%	3.0%
1月	85.1%	2.0%
2月	75.7%	2.1%
3月	48.6%	1.2%
4月	78.1%	1.5%
5月	57.2%	2.0%

## 金沢市食肉衛生検査所 所在地

〒920-3101

石川県金沢市才田町戊 370-2

TEL : (076) 257-1402

FAX : (076) 257-2083

E-mail : [syokuniku@city.kanazawa.lg.jp](mailto:syokuniku@city.kanazawa.lg.jp)

